

平成十六年度事業（活動）計画

一、はじめに

北海道におけるファミリーハウス活動は、平成十二年十一月札幌で産声を上げ三年半が過ぎ、よちよち歩きからしつかりとした足取りへと健やかに成長しています。この間、個人・法人会員、オーナーさんやホテルそしてボランティアの皆さんの協力で、それぞれの役割を踏まえながら運営にあたってきた結果、社会の評価も年々高まり社会的信頼度も上がっているものと自負するところであり、とりわけ、北海道方式と言われるオーナーの集合体による運営は全国的にも注目が寄せられ、新しい形のファミリーハウス活動として注目されています。その活動も軸足を草創期から充実、安定へと移していくため、事務局体制の確立をはじめ多くの課題に取り組まなければなりません。加えて、活動のペースとなるボランティアとオーナーの皆さんの協力が不可欠であり、先を見据えた行動計画が必要と考えます。ここに、向こう二年程度を展望しながら、向こう一年間の方針をたて計画的に取り組むこととします。

二、責任ある事務局体制の確立に向けて

- 役員およびボランティアの役割分担を行い、円滑な事務局運営と責任ある体制をめざします。
- 理事会およびボランティアによるスタッフ会議を定例化し、計画性を確保し情報の共有を図ります。
- 利用者の応対、マスコミ等の外部からの問い合わせに、対応者によって齟齬が生じないようにマニュアル類の整備を図ります。
- 運営体制の充実と、ボランティアの負担軽減に向けて「ボランティア登録制度」（仮称）を検討します。
- 情報のデータベース化、資料の保存性と有効活用、情報発信および収集、電子メール確認など、パソコンシステムを活用した業務を推進します。

三、確固たる財政基盤の確立に向けて

- 財政基盤の充実と社会的認知度の向上に向けて個人会員および法人会員拡大に取り組みます。加えて、会員拡大に必要なパンフレット等の整備を進めます。

・個人会員：現行会員の10%増

・法人会員：理事一名あたり二社増

- 会費の有効活用、事務処理の効率化を図るため会費納入回数の低減について協力を求めていきます。
- 助成金・寄付金の提供を受けるため、積極的な情報収集を行います。

四、オーナー・ホテル等との連携強化に向けて

- 利用者の利便性を確保し、目的外利用防止（民業圧迫防止）、利用状況把握のため各オーナー受付から事務局受付に見直します。
- なお、ホテルについては空室状況の把握が困難なため、従来通りとします。
- 利用条件や物件設備（設備、料金、病院との距離、交通など）の把握を行い、利用者への情報提供に努めるとともに、ハウスとしてのガイドラインづくりを進めます。
- 利用者ニーズの把握、オーナー同士の情報交換の場として、「オーナー親睦会」（仮称）を検討します。
- 道内外に組織する同種活動との情報交換を通じて、将来のネットワーク化に向けた信頼の醸成に取り組みます。加えて、新たに活動をはじめの方へのノウハウの提供を行います。

五、社会信頼と認知度の確立に向けて

- 新聞・テレビ・ラジオ・地域コミュニティ放送などを通じて広範なPR、広報活動に積極的に取り組まします。
- 定期広報誌「ファミリーハウス通信」等による情報提供を行い、会員の継続性や活動の透明性確保に努めます。
- ホームページでのPR、広告物の発行等により活動への理解活動を進めます。
- 活動への理解を深めてもらうため、書籍の寄贈や講演会等の社会還元に取り組みます。
- 親近感の醸成、シンボリック的存在の確立、広報活動への活用を念頭に、ロゴマークやキャッチコピーなどを作成します。
- 社会認知度、信頼性、責任体制の明確化を図る中からNPO法人化に向けて検討を進めます。

助成金・寄付金・寄贈品

平成十五年度、北海道ファミリーハウスに寄せられた助成金、寄付金、寄贈品は左記の通りです。心から感謝申し上げます。

■助成金・計二十五万円

越智基金様

札幌信用金庫社会福祉基金様

北海道地域活動振興協会様

北海道共同募金会様

■寄付金・計四十九万五千円

高杉家様

北海道骨髄バンク推進協会様

しやぼんだま母の会様

個人

（長谷川太様・伊藤悦子様・右谷陽子様・大久保幸子様
・小黒万里子様・古川節雄様・佐坂悦子様・小田野晃様）

■寄贈

花王株式会社様 洗濯洗剤・台所洗剤他

■ホームページをリニューアルします（近日公開）

ファミリーハウス活動を多くの皆様にご理解いただくために内容の充実を図ります。利用者の方にも便利なハウスや病院情報を掲載します。

<http://www.3snowman.ne.jp/~h-family/>

北海道ファミリーハウス「ロゴ」

「キャッチコピー」ができました

■「ロゴマーク」



中心に家族を意味する葉をデザインし、家族の両手でそっと包む優しさに加え、北海道ファミリーハウスを英字で表しました

■「キャッチコピー」

「入院患者と家族を支える・ボランティア団体」北海道ファミリーハウス

Information

北海道ファミリーハウスは
皆様の善意に支えられています

